

単人道路の4車線化事業の整備効果

- 単人道路を4車線化するのには、単人東インターチェンジから加治木ジャンクション間の7.3kmです。
- 4車線化事業は、供用中の暫定2車線から完成4車線へ拡幅する事業です。この整備により安全性・走行性の向上、災害時の代替機能の強化など地域の発展に寄与すると期待されます。
- 2車線から4車線に車線が増えることで対面通行が解消され中央突破事故の減少による安全性が向上されます。
- 工事による夜間通行止め回数が減少されます。
- さらに通勤時や大型連休等での渋滞の減少が期待されます。

災害時の代替機能強化

異常降雨による法面崩壊等の災害時において、4車線以上の区間では、復旧工事をを行いながら同時に反対側の車線を対面通行運用するなど、車線を有効に活用することで、災害時の迅速な交通確保などが可能となります。



救急医療活動の支援

霧島市から鹿児島市の医療センターへ救急搬送する場合、単人道路を利用することが多く、4車線化により、救急搬送時の通行止めリスクの回避が期待されます。

霧島市内から鹿児島市内の医療センターへの搬送ルート



単人道路4車線化完成イメージ

① 単人東IC～単人西IC間



② 単人東IC～単人西IC【清水川橋】野久美田トンネルより国分方面を望む



※現時点での完成イメージであり、実際とは異なる場合があります